

## 日本労働年鑑 1951年版(第23集)

The Labour Year Book of Japan 1951

## 第二部 労働運動

## 第二編 労働組合運動

## 第七章 主要な労働組合の現状

## 全日通労働組合

## 全日通労働組合(全日通)

(All Japan Express Workers Unions)

◇結成 一九四六年四月二〇日

◇所在地 千代田区三年町一ノ二一電話銀座(57)三六二八

◇加盟機関

◇組織(労働省調)

	支部数	組合数	組合員数
北海道地区本部	二九	一	一一、〇三二
東北地区本部	四	三四	八、六〇四
関東地区本部	一五	六二	一四、七二〇
新潟地区本部	四	三六	一〇、一六〇
中部地区本部	八	七三	一六、〇四五
関西地区本部	九	五一	二〇、八二九
中国地区本部	四	三七	七、六七四
九州地区本部	八	五一	一一、三二三
四国地区本部	三	一一	二、三七八
計		三八四	一〇二、七六一

◇役員

中央執行委員長 森 善治

中央副執行委員長 荒谷市太郎

同 宇野 弘

中央書記長 石藤一三

◇機関紙「日通労働」B3、二ページ週刊

◇全日通は、結成当初から産別会議に参加していたが四七年秋ごろから組合内に白通会という有志組織が発足し、やがて日通民主化同盟となり産別、全労連の脱退を主張し、四九年一〇月の大会に於て遂に産別、全労連を脱退し、民同系の全国労組統一準備会に参加した。

日本労働年鑑 第23集/1951年版

発行 1951年1月1日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 時事通信社

2000年2月15日公開開始

■ ←前のページ 日本労働年鑑 1951年版(第23集)【目次】 次のページ → ■  
日本労働年鑑【総合案内】

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)